

# 海ごみアート巡回展

作品の巡回展示を希望される場合は、下記の問合せ先までご連絡ください。

## <巡回展示予定作品「コアホウドリ」>

画は、淀川テクニック氏によるスケッチ画



海鳥の中でも、海表面に浮いている餌を幅広く食べるアホウドリ類は、特にプラスチックなどの海洋ごみの摂食頻度が高いことが知られている。コアホウドリは、絶滅危惧種に指定されている。

## <淀川テクニック制作作品「宇野のチヌ」(岡山県宇野港)>



©淀川テクニック、Courtesy of the artist and YUKARI ART

### 今や世界的な課題となっている海ごみ問題。

中でもプラスチックは、軽くて丈夫で持ち運びしやすい、様々な製品に加工しやすいなどの性質から、これまで世界中で様々な製品に使われてきました。しかし、その中には使い捨てにされるプラスチックも多くあります。特に、ポイ捨てされたり、屋外に放置されたプラスチックごみは、雨や風によって河川に入り、海に流れ出てしまいます。海のプラスチックのほとんどは陸からプラスチックごみです。こうした人間の生活の影響で、他の生物達が迷惑を被り、絶滅しそうな生物もいます。

この度、県内在住のアーティスト「淀川テクニック」に、海ごみを利用したアートを制作していただくこととなりました(完成予定:11月上旬)。完成後は、多くの方に見ていただき、海ごみやプラスチックごみの問題に関心を寄せたいと、作品の県内巡回を予定しています。(巡回展示の作品は、上記写真の作品ではありません。この度、制作していただく最新作です。)

については、巡回を希望される学校・団体等を募集しますので、作品の展示を希望または検討される場合は、下記の問合せ先まで御連絡ください。

### 【巡回展示の申込み】

展示の申込



- ・展示期間、場所を検討の上、問合せ先に連絡(〇週間程度で希望するでも構いません。)
- ・展示期間例(1週間、2週間、1か月など)

日程調整



- ・団体等が希望する展示期間を調整の上、展示期間を決定

※淀川テクニックとの日程調整次第では、ワークショップの開催も可能です。希望される場合は、御相談ください。

巡回展示決定

### 【展示内容】

- ・作品(軽トラックの荷台に載せて運搬できる大きさ。想定 縦 2400×横 1200×高さ 2100)
  - ・パネル(作品説明、アーティストプロフィール、海ごみ関連等)
- ※展示場所は、ホールや体育館など「屋内」でお願いします。

### 【作品の運搬等】

- ・作品等は、県が指定する場所に取りに来ていただきます。(軽トラックが必要です。)

※その他、不明な点がございましたら、下記問合せ先まで御連絡ください。

### 【「淀川テクニック」プロフィール】

- ・柴田英明(しばたひであき、1976年岡山県生まれ)氏のアーティスト名。2013年から県内在住。
- ・2003年に大阪・淀川の河川敷を拠点として活動開始。ごみや漂流物などを使い、様々な造形物を制作する。代表作に岡山県・宇野港に常設展示された《宇野のチヌ》(2010)などがある。
- ・2018年より新たに「ゴミハンタープロジェクト」をスタート。世界中のごみを求めて旅をし、目撃した現状を作品にすることで、ごみ問題をより広く考えるきっかけをつくることを目的にしている。

### 【問合せ先】

鳥取県生活環境部循環型社会推進課

電話 0857-26-7198 ファクシミリ 0857-26-7563

電子メール junkanshakai@pref.tottori.lg.jp



エコトリピー